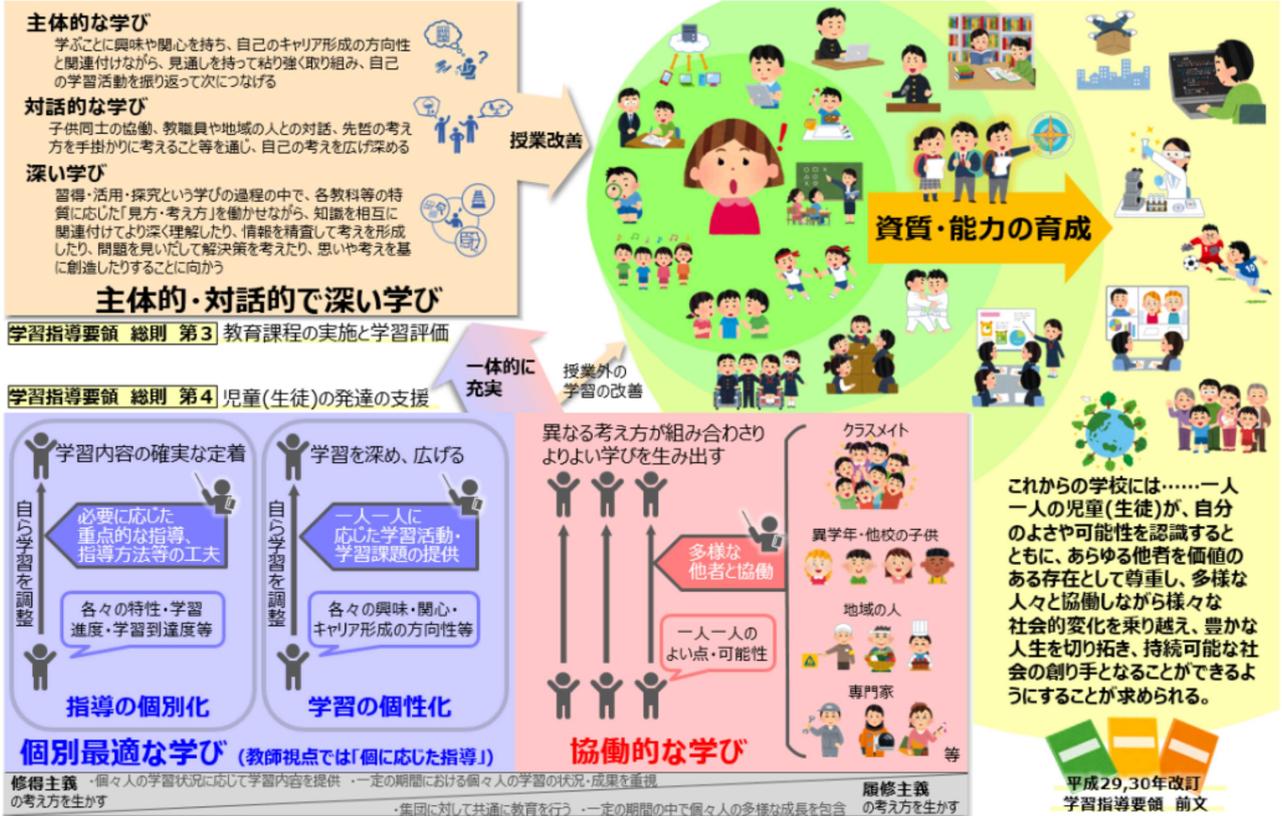




# 学びの個別最適化 ①

## 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）



※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し、図等として整理したものである。



2021年3月に文部科学省の『中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会における審議のまとめ』の中にあったイメージ図を掲載しました。

『個別最適な学び』と『協働的な学び』です。

学習指導要領の前文には、「教育課程」について、以下のように書かれています。

「一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するの、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。」

教師の視点として「個に応じた指導」を行うことは、言うまでもありません。

その上で、『指導の個別化』そして『学習の個別化』が明確にされています。

そしてそれを支えるのが「自ら学習を調整」することなんです。

9月13日の中等部通信第12号に書きました。ラーニングストラテジー、「戦略的学習力」につながります。そして何よりも、「自分のために自分で学ぶ」ことなんです。

またまたいつものお話に戻ってしまったようですが、「個別最適化」は、明日に続きます。